

2015年2月13日最終版2

ふんばろう東日本支援プロジェクト

2014年度事業報告書

(はじめに)

皆様に「ふんばろう東日本支援プロジェクト」の最終期決算(第4期、2014年1月～12月)と2014年の事業報告をお届けします。

皆様すでにご存じのように、「ふんばろう東日本支援プロジェクト」は2014年9月末で事実上その機能を発展的に解消し、これまでその傘下にあった各支部・プロジェクト・団体が支援活動の主体となる「ふんばろう3.0体制」に移行しました。

これまで「ふんばろう東日本支援プロジェクト」として皆様方から頂戴した支援金の残額につきましては、同プロジェクトの2014年末の清算手続き完了とともに、昨年10月に登記した一般社団法人ふんばろう支援基金に移管し、引き続き被災地の復興支援のため、今後2年間をめどに大切に使用させていただく予定です。

(概要)

「ふんばろう東日本支援プロジェクト」は、未曾有の大震災が東日本を襲った2011年3月11日の翌月に、被災地支援を目的として発足しました。以来約4年間、多くの個人の方々や企業の皆様からの暖かいご支援を得て、2014年も様々な被災地支援の活動に取り組んでまいりました。「ふんばろう」の4期目の活動は、2013年に引き続き、自立支援・コミュニティ再建に重点を置き、加えてスマート・サバイバー・プロジェクト(SSPJ)^(注)も本格的に活動を開始しました。また、提携団体向けの支援もさらに充実させ、地元に着して有意義な支援活動を展開している団体や地元コミュニティの再建に取り組んでいる組織に対して、きめ細かい支援を行いました(詳細は「ふんばろうサポータークラブ通信第9号」の「2014年新規の支援先」を参照してください)。

(注) 東日本大震災の教訓を、今後予想される津波や地震に対する防災教育に生かすべく活動しているプロジェクト。

これまでの「ふんばろう」の活動に対して、2014年9月、コンピューター界のオスカーと称されるアルスエレクトロニカ賞のデジタルコミュニティ部門で、ゴールデン・ニカ賞(最優秀賞)を受賞し、西條代表が「ふんばろう」を代表してオーストリア国リンツ市における授賞式に出席しました。また11月には、ベストチーム・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催するベストチーム・オブ・ザ・イヤー2014優秀賞に選考される栄誉をいただきました。

これまでの「ふんばろう東日本支援プロジェクト」の枠組みを発展的に解消するというこのタイミングで、これらの栄誉をいただいたことは、これまでのわれわれの活動が、独りよがりではなく評価を頂いたことの証左とも考えられ、「ふんばろう」の活動を創生期か

ら支え続けて来てくれたメンバーと支援者の皆様方の一方ならぬお力添えのたまものと感謝しております。

・・・ これまでの「ふんばろう」各プロジェクトの活動については、「ふんばろう 東日支援プロジェクト 総実績 2011年4月～2014年9月」<http://fumbaro.org/archive/achievement.pdf> を参照してください。

(決算内容について)

2014年中のふんばろう東日本支援プロジェクト収入は、① 個人・企業からの支援金ご寄付が27百万円、② 個人の方々からの「ふんばろうサポータークラブ」を通じた支援金が26百万円、など総計53百万円となりました。この今年度お預かりした寄付金と、前期末にあった繰越金約60百万円は、

- ① 公認団体支援金として41百万円(損益計算書の公認団体支援金には一般社団法人ふんばろう支援基金への移管額52百万円が含まれています)、
 - ② 提携団体支援金が13百万円、
 - ③ 支払手数料・事務所賃借料・業務委託費等の本部経費が6百万円、
- など総計で61百万円を今期の支出として、払い出しをいたしました。

2014年中に「ふんばろう」から支援金を支出した主な団体・活動としては、

- スマート・サバイバー・プロジェクト(SSPJ、前述)に対して15.5百万円(ある支援企業様からのSSPJに対する直接支援です)。
- 重機の免許取得支援やプレハブ倉庫・草刈り機の貸出等で地元に着した支援を行っている「復興支援グループ」に5.8百万円
- 大船渡において、地元アーティスト支援やアートを通じたコミュニティ活性化に取り組むほか、「来渡(ライト)ハウス」を運営する「みんなの創造空間」に対して4.8百万円
- 仮設住宅においてコミュニケーションづくりのきっかけにすべく、花を植える運動を展開してきた「緑でつながるプロジェクト」に3.7百万円
- 福島県、宮城県で現地のものづくりグループをサポートしている「ものづくりプロジェクト」に2.6百万円
- 南三陸において、海岸部に街路灯の設置や避難道の整備を進める「南三陸お手伝いプロジェクト」に2.1百万円
- 地元に着し有意義な支援活動を展開している団体や地元コミュニティの再建に取り組んでいる被災地の組織に対して、提携団体支援金として13.3百万円などです。

(清算結果について)

決算・清算手続の結果、ふんばろう東日本支援プロジェクトの残余財産は、現金 49 百万円、切手・書籍等の資産を含め合計約 51 百万円となり、同金額を 11 月から 12 月 29 日にかけて順次一般社団法人ふんばろう支援基金に移管(現金の移管分は前述のとおり、公認団体支援金に計上)、清算手続きは 2015 年 1 月 20 日に関係当局に書式を提出し完了しております。

なお、ふんばろう東日本支援プロジェクトの 2014 年 12 月末段階での貸借対照表は、2015 年 1 月の清算結了申告に関わる納税関係資金の 82 千円のみであり、残余財産は組織清算のため、0 (ゼロ) となっております。

(2014 年中の主な運営活動のご報告)

- 全体会議の開催 2014 年 3 月および 9 月
- 公認団体に対して 2014 年予算に基づく支援金を配布 2014 年 5 月および 9 月
- 提携団体を拡充し新たに 14 団体に支援金を配布 2014 年 6 月末
- ふんばろう東日本支援プロジェクトの事務所を早稲田大学 66 号館に移転
2014 年 7 月 1 日
- 代表者会議 2014 年 8 月 24 日に開催
- サポータークラブ通信の発行 1 月第 6 号、5 月第 7 号、7 月第 8 号、10 月第 9 号
- ふんばろうサポータークラブの自動引落システムを終了 2014 年 9 月末
- ふんばろう東日本支援プロジェクトの継承団体として、「一般社団法人ふんばろう支援基金」を設立登記 2014 年 10 月 3 日
- ふんばろう東日本支援プロジェクトの第 4 期決算と清算 2014 年 12 月末

この間のふんばろう東日本支援プロジェクトに対する、皆様から頂いた暖かなご支援に心より感謝を申し上げ、第 4 期の決算と清算のご報告を終わります。

長い間、ご支援をいただき本当にありがとうございました。
今後とも傘下の各団体に対して変わらぬ暖かいご支援をお願い申し上げます。